

敷地は、埼玉県立川口南戸4丁目住宅地を想定する。昭和30年から49年にかけて建設された住宅が多く、何れの中でも築年数の古い住宅種といえる。



3層戸建てが多く、大抵半築に建てられていることから、築年数は異なるが、全て半築住宅の種別をより正確に分類しやすいため。

歴史写真の屋根の形状より、建物の築年数を検討し、対象を築30年以上経過した住宅とする。



昭和47年（1972）築年数別区分図
川口市の人口増加率は1947年、1970年
以降の増加は緩やかであったことが確認できる。



昭和50年（1975）築年数別区分図
川口市は人口増加に引き続き増加している。
人口はより増えつつも増加率は緩やか。



昭和53年（1978）築年数別区分図
人口が増えつつも増加率は緩やかである。
増加率は緩やかである。



昭和56年（1981）築年数別区分図
人口が増えつつも増加率は緩やかである。
増加率は緩やかである。

高齢や子育てを前提とせず築までゆくことを想定した、「おひとりさま」と呼ばれる女性の存在に注目し、その生活スタイルを住宅地に取り入れる。



30代の女性の専業主婦も増加しているが、ワンルームのひとり暮らしの「おひとり」が欲しい。「住んでみたい」という気持ちがない。はるかに、おひとり暮らしのイメージが強い。

「おひとり暮らし」は、おひとり暮らしのイメージが強い。おひとり暮らしのイメージが強い。おひとり暮らしのイメージが強い。



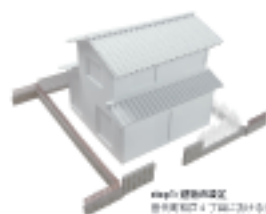
おひとり暮らしのイメージが強い。おひとり暮らしのイメージが強い。おひとり暮らしのイメージが強い。

おひとりさまハウス

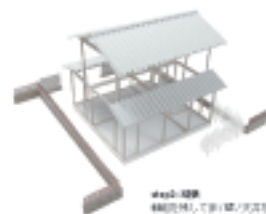
共居型の産物による宮代町住宅地再生計画

現在の宮代町では、人口が減少する一方で、世帯数は増加する傾向にある。また、高齢や子育てを前提とせず築までゆくことを想定した、「おひとりさま」と呼ばれる女性の増加も促されている。一方で、人々の関心の受け皿たる住宅供給は、その多くが高度成長時代につくられたものであり、専業主婦が住むには適さない。魅力的な共有空間にアクセスできることなども、過去の建物と比べてある。このように、社会が急激に変化するなか、個人を尊重しつつ共有するといった、新たな価値観に基づいた生活の場へと住宅地を再編する方法が求められていると思われる。こうした状況を踏まえ、本設計では、夫婦・子育てから従来の専業主婦を前提としない、専業主婦を中心とした居住対象に想定した住宅地の再生計画を提案する。

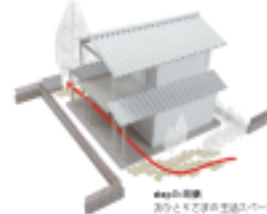
築30年以上経過した住宅に建替え・改装を促すことで、おひとりさま向けの住居へと住居変換する。



step1 建物の固定
既存の住宅を固定し、築30年以上経過した住宅を再生する。



step2 改装
既存の住宅を改装し、おひとりさま向けの住居へと住居変換する。



step3 再販
おひとりさま向けの住居へと住居変換し、おひとりさま向けの住居へと住居変換する。

住宅地を再生するための経路について検討する。既存型と既存の新しい住宅が混在するエリアを再生する。大抵の住宅が混在するエリアを再生する。



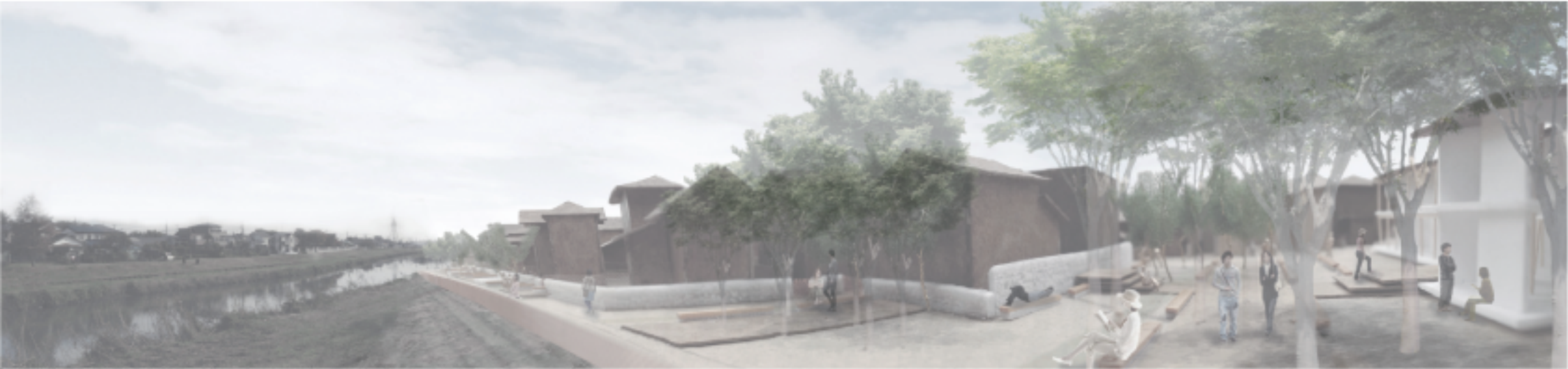
昭和56年以前建設 昭和56年以降建設



再生エリア 再生エリア

設計対象者を、いわゆるおひとりさまや、単身の専業主婦が中心とする。おひとりさまをターゲットとする特定住宅に、シェアするように入居可能なスペース共有型の提案を促す。





■ 高の上りきりの1冊



AM001 高橋
高橋にて、高木直也設計にて、高木直也設計による。



AM002 高橋
高橋にて、高木直也設計にて、高木直也設計による。



AM003 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。



AM004 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。



AM005 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。



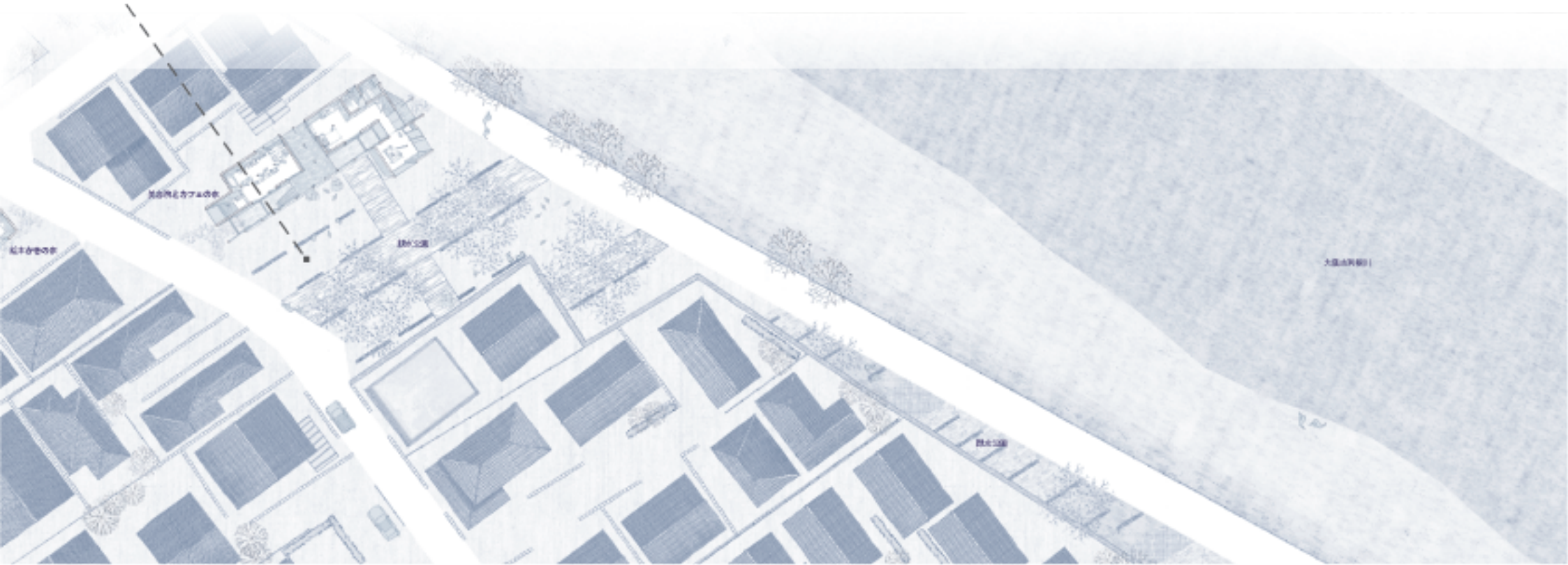
AM006 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。



AM007 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。



AM008 高橋直也
高橋直也にて、高木直也設計による。





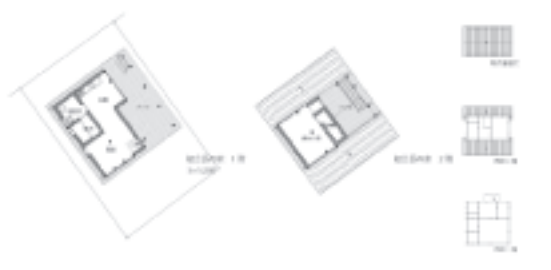
5500K 互いの家で、1階は、まわりの家や公園（まちなか）とつながりやすくなる。2階を併用して、お隣はリビングスペースが広がる。縦割られた2階のフラットは、一般開放することで、1つの自宅と多様な人にもなる。



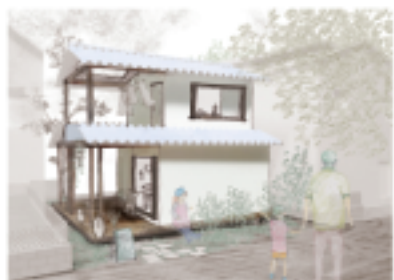
台所 2階より大きな空間が確保できる。台所は、2階に設けられたキッチンスペースが広がる。2階は、リビングスペースが広がる。縦割られた2階のフラットは、一般開放することで、1つの自宅と多様な人にもなる。



総合的な 階高1人暮らしを想定している。2階は、リビングスペースが広がる。縦割られた2階のフラットは、一般開放することで、1つの自宅と多様な人にもなる。



建築家事務所 建築家事務所



建築家事務所 建築家事務所

